

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	看護基本技術 I (コミュニケーション技術)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	10 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	前期	教室名	本館2階・202・203
担 当 教 員	岡田 千鶴	実務経験と その関連資格	国立病院機構で36年勤務、20年、管理職、最終は看護部長職			
《授業科目における学習内容》 看護師として必要とされるコミュニケーション技術は、①コミュニケーションが双方向で相互作用であるとの概念化を学習すること、②適切なコミュニケーションでは関係構築のためのコミュニケーションの基本(挨拶、身だしなみなど)が求められ、更に③看護を実践していく上では、コミュニケーションの成立から関係性の構築が必要である。④コミュニケーションに障害を持つ患者には様々な状態がある。⑤それぞれの障がいに応じてコミュニケーションの対応の特徴がある。これら一連の内容がコミュニケーションスキルに繋がる。						
《成績評価の方法と基準》 終講テスト						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 20巻 基礎看護技術 (P18～37)						
《授業外における学習方法》 先輩・教職員に対して挨拶ができる。教員に対して適切な言動がとれる。看護学生としての身だしなみを意識することができる。患者さんと対峙するときには、患者さんの伝えたいこと、考えていること、気持ちを考えることができる。さらに患者さんとno会話方法が理解できる。						
《履修に当たっての留意点》 知人・家族と看護専門職としてのコミュニケーションは異なると理解することから始まる。話を聞く、相手の気持ちを考えた対話が出来、コミュニケーション障害のある対象への対話テクニックと段階的に難易度を上げ模擬実践しながら看護専門職としての技術を学ぶ。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーションの概念、5つの基本的構成要素及び成立過程について理解できる	・テキストP20, 26 スライド ・振り返り用紙	自己紹介を10分のできるように600字で事前にまとめる	
		各コマにおける授業予定	看護においてコミュニケーションを学ぶ意義を理解する。人間のコミュニケーションの特徴を理解する 5つの基本的構成要素と成立過程を講義			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	関係構築のためのコミュニケーションの基本を理解する	・テキストP21～27 スライド ・振り返り用紙	自己の悩みを5分でお話できるようにまとめる	
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションに必要な能力と態度を理解する 演習を通して双方向的な相互作用に関与する要因を理解する			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療現場を想像する。効果的なコミュニケーションの実際を理解する	・テキストP20, P30～31 ロールプレイング	you-tube鑑賞	
		各コマにおける授業予定	患者の気持ちや思いを考える。看護専門職としてのコミュニケーションを体験し、コミュニケーション技術を体験する			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーション技術の実際が理解でき、看護現場での効果的なコミュニケーションが理解できる。	・テキストP25 演習用課題 プロセスレコー 紙、	you-tube鑑賞	
		各コマにおける授業予定	言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションを理解する。 コミュニケーションの演習をとおしてプロセスレコードを起こす			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	演習課題・プロセスレコードを用いて自己のコミュニケーションの課題を明らかにする	・テキスト P31～35 振り返り用紙	プロセスレコードの完成	
		各コマにおける授業予定	演習課題・プロセスレコードを用いてリフレクションを行い、対人関係を分析する			